



(公財)神奈川科学技術アカデミーは平成29年4月をもって神奈川県立産業技術センターと統合し、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(略称：産技総研)へ移行しました。

製造現場で考える 環境規制11



RoHS/REACHに対応する 自律的マネジメントシステムの構築

— これまでの知見を日常業務に活かす —



対象：企業における化学物質規制対応の実務担当者、社内教育、情報伝達のご担当者

●カリキュラム編成者からのメッセージ●

EU RoHS指令やREACH規則の要求事項は変化しています。EUを先行モデルとしているアジア諸国も規制強化をしてきており、EU同様に要求事項は改定されています。これらの変化、変更は時期や内容が異なり、企業はその対応に追われています。

「法規制の変化は止まらない。」だから大変とされています。しかし、企業は、商品やサービスの競争力などの経営環境は日々の変化があり、この変化は当たり前のこととして、対応しています。「法規制の変化」もまた、経営環境、市場環境の一つの変化であり、特別視するものではありません。ただ、この変化が従来と異なる「化学」「海外規制法」であり、経営層は対応を避けて担当任せにしている例が多く見受けられます。ここが課題ともいえます。

経済産業省の報告書を見ても、「海外規制法」対応には多くの工数や費用を投入しています。法規制の本質を知り、知恵を出し、自社の通常のマネジメントシステムに統合することで、効率的な仕組みができると思います。

RoHS指令施行から10年を超えて、本講座も今年は11年目です。今年度も、企業において求められる担当者の育成を支援いたします。「基礎知識を持ち」「本質を理解し」「変化を知る」ことは、担当者が自ら考えられるようになるために必要なスキルです。講義と演習を通して、リスクマネジメントに必要な判断力を養います。最終的には、法規制の変化に揺り動かされることがないリスクベースの自律的マネジメントシステムを構築し、運用することが目的です。

初級編では、本質を理解しないまま日常業務対応に追われている担当者や法規制の仕組みを整理したい新任担当者を対象とします。副読本を充実させて、講座は基本的な考え方、本質をご説明するに止めて、典型的な疑問 (FAQ) や事前質問などで、ディスカッションを通して理解を深めるようにします。

応用編では、顧客から問い合わせが多いEU以外のアジアなどの規制動向の解説と法規制の基本のリスクとリスクマネジメントについて、ディスカッションで考えていただきます。

実践編では、リスクベースでのマネジメントシステムの構築、既存マネジメントシステムの統合の進め方を説明します。リスクマネジメントシステムを構築するうえで、必要となる法規制、情報伝達スキーム (ケムシエルバ) やCEマーキングの技術文書の概要などをご説明します。また、自社システムを構築するうえで、他社の考え方を知りたいものです。先行企業の事例発表や事例検討などで、自社の取り組みを具体化していただけるようにします。

初級編、応用編、実務編は関連していますので、連続して受講することをお勧めします。各講座ともに、質疑応答、個別相談の時間も設けておりますので、技術・経営の両面から専門家のアドバイスを受けられます。多数のご参加をお待ちしております。

一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長
一般社団法人 産業環境管理協会 技術参与
松浦 徹也 (中小企業診断士・環境計量士)

●各回の詳細 ※各回とも、終了後、個別相談会を開催いたします(事前申込要)

STEP1 断片的知識の整理

【初級編】



日時 7/24(月)
13:10~17:00

定員 70名(先着順)

受講料 1,000円

テーマ 『法規制の本質を知る』

- 対象
- ・本質を理解しないまま実務対応に追われている担当者
 - ・法規制の仕組みを整理したい新任担当者
 - ・これから自社で取り組みを始めたい方など

ねらい これまでの知見のブラッシュアップ、新任担当者の基礎教育を目的としています。新たな情報提供より、EU RoHS指令、REACH規則などの主要法規制の本質を理解することを重視します。FAQを通して、具体例で解釈していきます。

内容 EU RoHS指令、REACH規則を中心に解説します。中国など関連する法規制の概要は、副読本(基礎編)で情報提供をします。RoHS指令、REACH規則の本質を理解するために、FAQや受講生から募った質問など、身近なテーマでディスカッションを行ないます。

プログラム	全体プレ講座	
	13:10~13:15 (5分)	オープニング
	13:15~14:15 (60分)	EU REACH規則の基礎
	14:15~15:00 (45分)	FAQによるディスカッション
	15:15~16:15 (60分)	EU RoHS指令の基礎
	16:15~17:00 (45分)	FAQによるディスカッション

(一社)東京環境経営研究所
林 譲 氏(中小企業診断士)

(一社)東京環境経営研究所
松浦 徹也 氏(中小企業診断士)

STEP2 知識を活かす

【応用編】



日時 11/22(水)
10:00~17:00

定員 40名(先着順)

受講料 6,000円

テーマ 『海外法規制への企業対応のポイント』

- 対象
- ・過去に本講座を受講したことがある方
 - ・一定レベルの知識を有する方
 - ・実務経験者

講師 (一社)東京環境経営研究所 所属 シニアコンサルタント ほか

ねらい 海外法規制の最新動向を把握し、対応するためのリスクマネジメントの考え方を学びます。グループ演習では、日常的な運営、判断場面においてリスクベースでの対応が行えるように従来の発想、考え方を払拭し、法規制の現実的な解釈や他社の価値観を理解できるようにします。

内容 EU RoHS指令、REACH規則の動向やアジア、アメリカ等の規制動向を解説します。化学物質規制法の基礎であるリスクの考え方、リスクマネジメントの進め方を紹介します。グループ討議では、小さな事例を多数検討し、考え方を整理していきます。

プログラム	第1部 法規制の論点整理	
	10:05~11:30 (85分)	(1)化学物質規制法 REACH規則の論点 C-REACH、K-REACH、台湾REACH、TSCAの動向 CLP規則の論点 中国、韓国、台湾、アセアンの分類と表示法の動向
	11:35~14:00 (85分) (途中休憩1時間)	(2)成形品含有規制法 RoHS(II)指令の論点/ アジアのRoHS方の概要
	第2部 リスクマネジメントの考え方と手法	
	14:05~14:50 (45分)	(3)マネジメントシステムの概要 JIS Z 7201、GB/T 31274、ISO9001等の要求事項の整理
	14:50~15:20 (30分)	(4)リスクマネジメントの考え方 労安法のリスクアセスメント手法紹介
第3部 事例検討		
	15:30~16:40 (70分)	(5)リスクマネジメントの事例検討(グループ討議) 数十例の事例集から数例を選択し、グループ討議を行ないます。 (例)ハンディタイプの電動工具を海外で販売しています。委託加工している工具の刃先の製造工程で、刃の台の表面に微少ながら鉛が付着しています。
	16:40~17:00 (20分)	まとめ

STEP3 自社システムの構築の基本知識の把握

【実践編】



自律

日時 12/20(水)
10:00~17:30

12/21(木)
9:35~17:00

定員 15名(先着順)

受講料 39,000円

テーマ 『総合マネジメントシステムの構築の基礎』

対象 ・実務担当者
(原則として「初級編」「応用編」の受講者)

講師 (一社)東京環境経営研究所 所属 シニアコンサルタント ほか

ねらい 本コースのゴールです。企業が対応すべき規制内容、企業経営で利用できるツールを学び、経営環境を理解できるようにします。この基礎情報を踏まえて、化学物質管理を特別視するのではなく、日常管理の一項目にするために、他社事例やケースメソッドで、他社メンバーと一緒に論議することで知識のブラッシュアップをし、自ら考えを整理できるようにします。

内容 初日はマネジメントシステムに必要な法規制の本質や論点、マネジメントシステムの統合で必要となるケムシエルパ、CEマーキング、ISO9001マネジメントシステムや試験分析などの関連の諸情報を整理して解説します。2日目は、先進企業の事例を聞き、自社の相対的な位置を把握できるようにします。演習では、ケーススタディを通して、企業が何をすべきかを講師と受講生が討議を重ねて一緒に考えていく過程で、化学物質マネジメントシステムの構築や各種実務に直結するノウハウを徹底的に身につけます。

第1日 12/20(水) 10:00~17:30 関連法規制の本質解説	
10:00~10:10 (10分)	オリエンテーション
10:10~11:00 (50分)	(1)主要法規制の概要① EU REACH規則、RoHS(II)指令
11:05~11:55 (50分)	(2)主要法規制の概要② アジア(中国、韓国、日本、台湾)、アセアンの規制法とTSCA
12:55~13:55 (60分)	(3)ケムシエルパの概要~サプライチェーンマネジメントの基本~
14:00~14:55 (55分)	(4)CEマーキングの技術文書の書き方
15:05~15:45 (40分)	(5)BOM(Bill of materials)の作成方法とエビデンスの決定方法 リスクベースの考え方(応用編のまとめ)
15:50~16:30 (40分)	(6)フタル酸エステルなどの新規規制物質の解説
16:30~17:00 (30分)	(7)製品含有化学物質管理のための分析試験の基礎知識
17:00~17:30 (30分)	(8)施設見学・分析機器により測定デモ
第2日 12/21(木) 9:35~17:00 先行事例紹介とグループ演習	
9:35~9:45 (10分)	(1)昨日の振り返りと本日の予定確認
9:45~11:55 (120分) (途中休憩10分)	(2)先進企業の事例紹介 川上、川中、川下企業3~4社からの取組事例紹介/全体討議
12:55~14:00 (65分)	(3)ロールプレイ(企業対応事例)
14:05~16:30 (135分) (途中休憩10分)	(4)グループ演習 事例検討1(事例検討の進め方の説明)/事例検討2(答えのない事例)
16:30~16:50 (20分)	(5)グループ発表
16:50~17:00 (10分)	(6)総括とクロージング

プログラム

受講者の声

- ・幅広い内容で大変勉強になった。
- ・先進企業の事例紹介は、実際の管理方法や対応の仕方など、非常に具体的でわかりやすかった。
- ・演習では、グループメンバーの視点がとても参考になった。どういった時に何を想定して考えればよいか、ヒントになった。

平成28年度「実践編・サプライチェーンマネジメントの実務」受講アンケートより





●受講料

日程	一般	神奈川県内中小企業	左記以外の神奈川県内企業 神奈川県内在住の個人の方
初級編 2017年7月24日	1,000円	同左	同左
応用編 2017年11月22日	6,000円	同左	同左
実践編 2017年12月20,21日	39,000円	31,200円	35,100円
全コース	42,000円	33,600円	37,800円

●お支払方法・・・初級編のみ当日現金でお支払いください。その他は銀行振込になります。

●神奈川県内中小企業とは・・・本社または事業所が神奈川県内にあり、資本金が3億円以下または企業全体の従業員数が300名以下の企業

●全コース料金のおすすめポイント●

*1つずつお申し込みいただくより、4,000円お得です。

*社内の方でしたら、各回、受講者が変わってもOK。(例:初級編は新任の方、応用編は中堅の方など。)

*応用編・実務編のみのご受講でも、全コース料金の方がお得です。欠席された回の資料を差し上げます。

●申込要項

- *受講申込書にご記入の上、郵送又はF a xにてお送りください。KISTECホームページからもお申し込み頂けます。
- *申込締切後、受講決定者には受講票・受講料請求書等の必要書類をお送りします。
- *募集人員を大幅に超えた応募があった場合には選考させていただくことがあります。
- *申込締切り後でも、定員に余裕がある場合は申込を受けられる場合がありますのでお問合せください。
- *FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが、着信確認のお電話をお願いいたします。
- *やむを得ない事情により、日程・内容の変更や中止をする場合があります。

●お申込み・お問い合わせ

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 教育研修グループ

溝の口支所 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟1F

Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2097

e-mail: ed@newkast.or.jp URL http://www.kanagawa-iri.jp

『RoHS/REACHに対応する自律的マネジメントシステムの構築』受講申込書		FAX送付先 044-819-2097	
		*の項目は該当するものに○を付けてください。	
ふりがな 氏名		いずれかに○をつけてください	
ふりがな 企業名		ア. 全日程受講	
所属・ 役職名		イ. 選択受講 希望する回に○をつけてください	
所在地	〒 - 都道 府県	1. 初級編 2. 応用編 3. 実践編	
TEL	(内) FAX	E-mail @	
以前にいずれかの講座を受講したことが* ある・ない		今後、KISTECからの情報をお送りしてよろしいですか？	
		●メールマガジン* 要 不要 ●教育講座DM* 要 不要	
資本金*	ア 3億円以下 イ 3億円超～10億円未満 ウ 10億円以上 エ 該当なし	従業員数*	ア 300人以下 イ 301人～1000人未満 ウ 1000人以上
情報入手先*	ダイレクトメール・KISTECホームページ・メールマガジン・社内回覧・イベント会場での案内・講師からの紹介 受講生からの紹介・学会誌・学会のサイト()・その他()		
●Q&Aで取り上げて欲しい質問や個別相談のご希望がございましたら、内容をご記入ください。(受講申込後にも承ります。)			